



序

小江文庫

全高
岡野
山

此書は佛佛の如く是れの上より極品法
曙の画はその心奉法へま有

新を如くひり尋きなり一平上の其後安原貞室
存へ下り終る如く此れ面目の又能くして

能く百句を述ぬ惣本寺高改繕合れ老既
とてハ此れ口立圃を生かれ画賛か中り不 休息

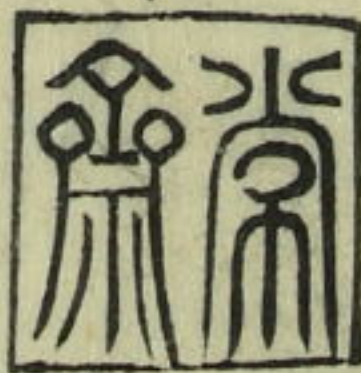
歌心其其家の観持くは唐詩画譜諸
註圖解の竹を摸りくは或ハ二女地野集ハ

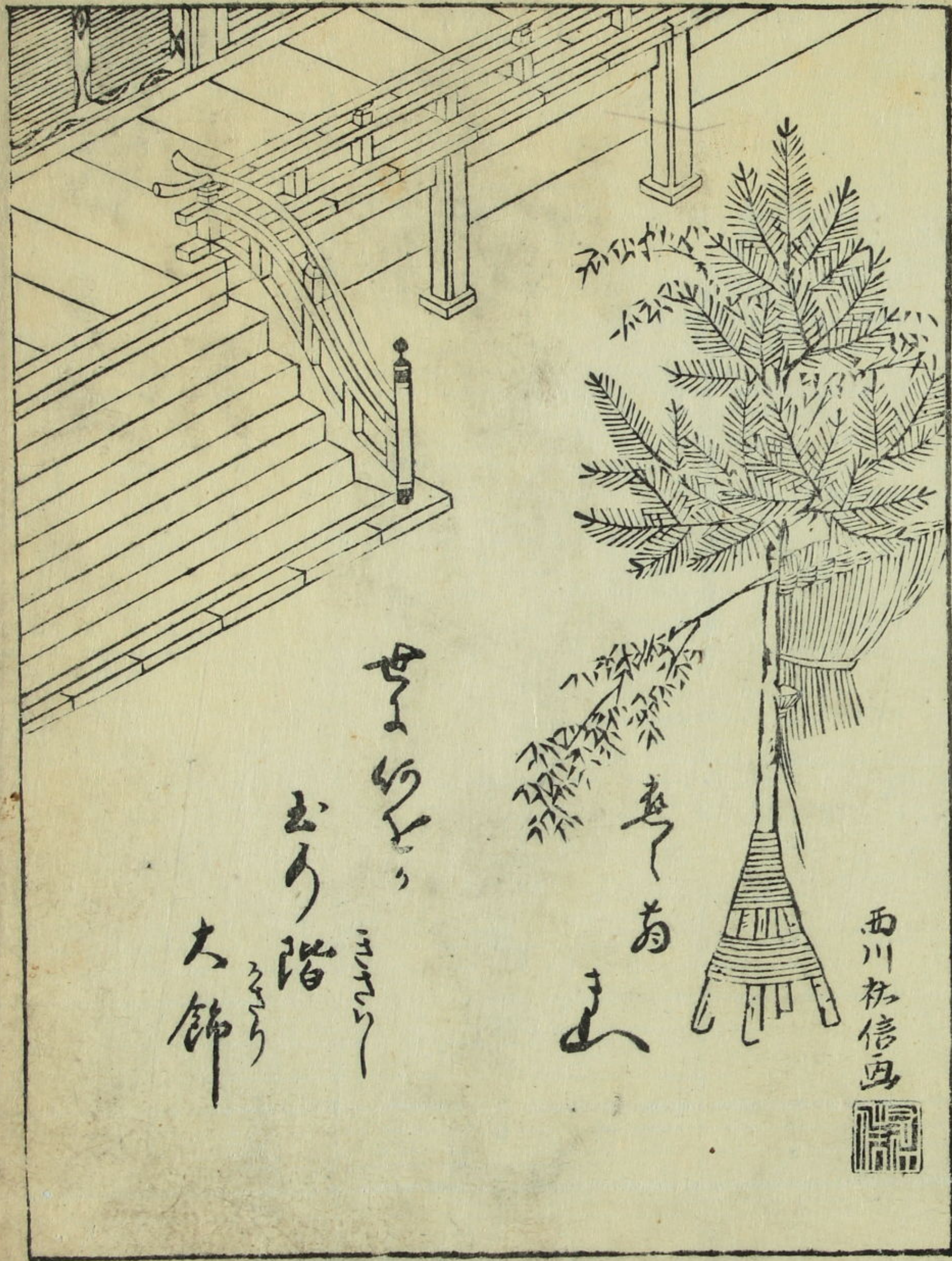


北村足生物月竹序後帝矩の恨とつ鳴滝
 跡履由形之とも且芭蕉の晋其角子福子
 の喜ぶさかきりか家くふ秘ふりり夜よ近來
 化笛といへる画及牙をさるるやまてや百福喜前物
 水舟よ画兼勺盡くやち結公道の流きよハ
 あん牛の口と雜れあめ 濁り如と何くと
 瘴交新を揮さるるふとては之——物人
 友陽之の——や

立松古橋石書局

著四





流組
 取子書
 西川松信書



梅の心

早
寒
交

物
能
京

棹歌齋
信安



依信
印



阿比の

深
心

本
朝
打
心

沿五橋石臺有蓮

暮四



依信
画





りんろう
の
た

ま

あ

の

た

貞徳三女

貞茅

文華堂

西川祐信画



李夫人

ほ

ら

菜

三

西川

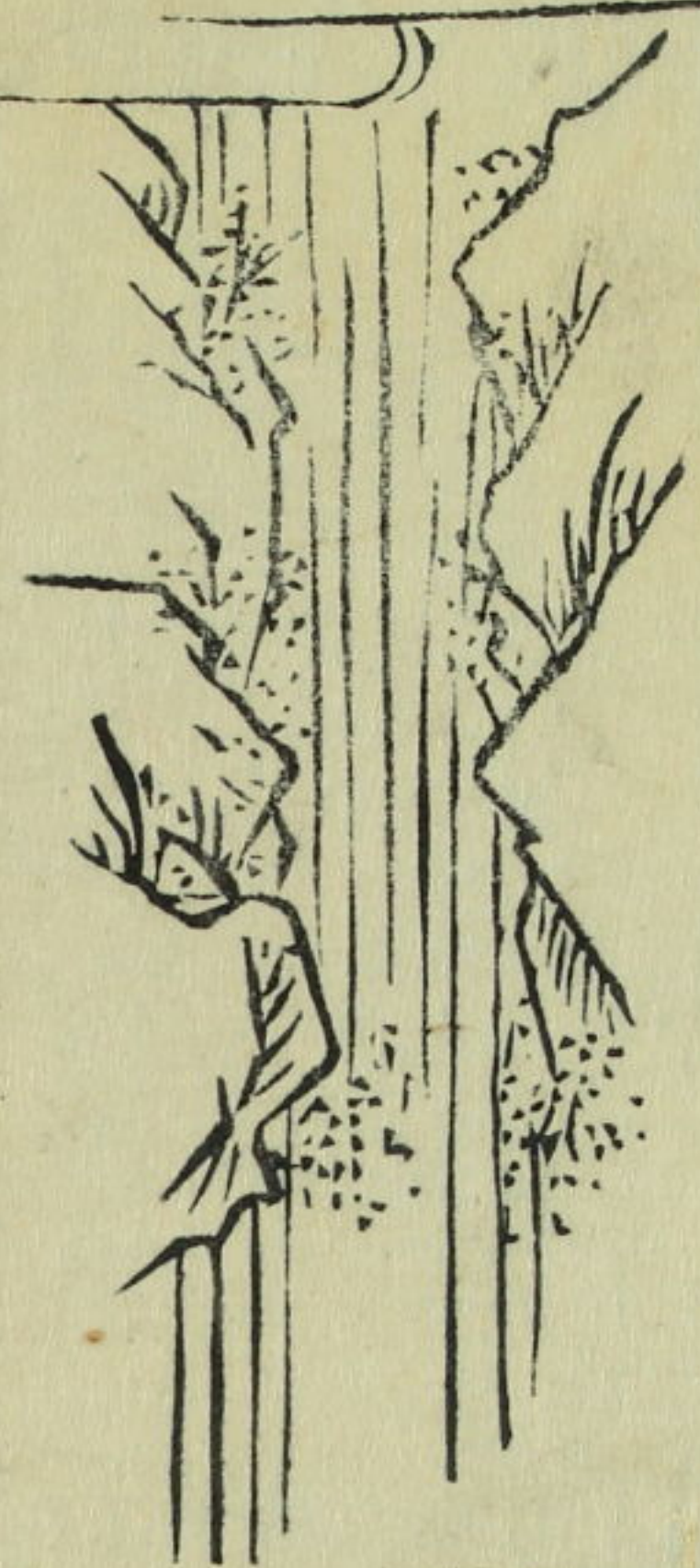


年
 招
 子
 於



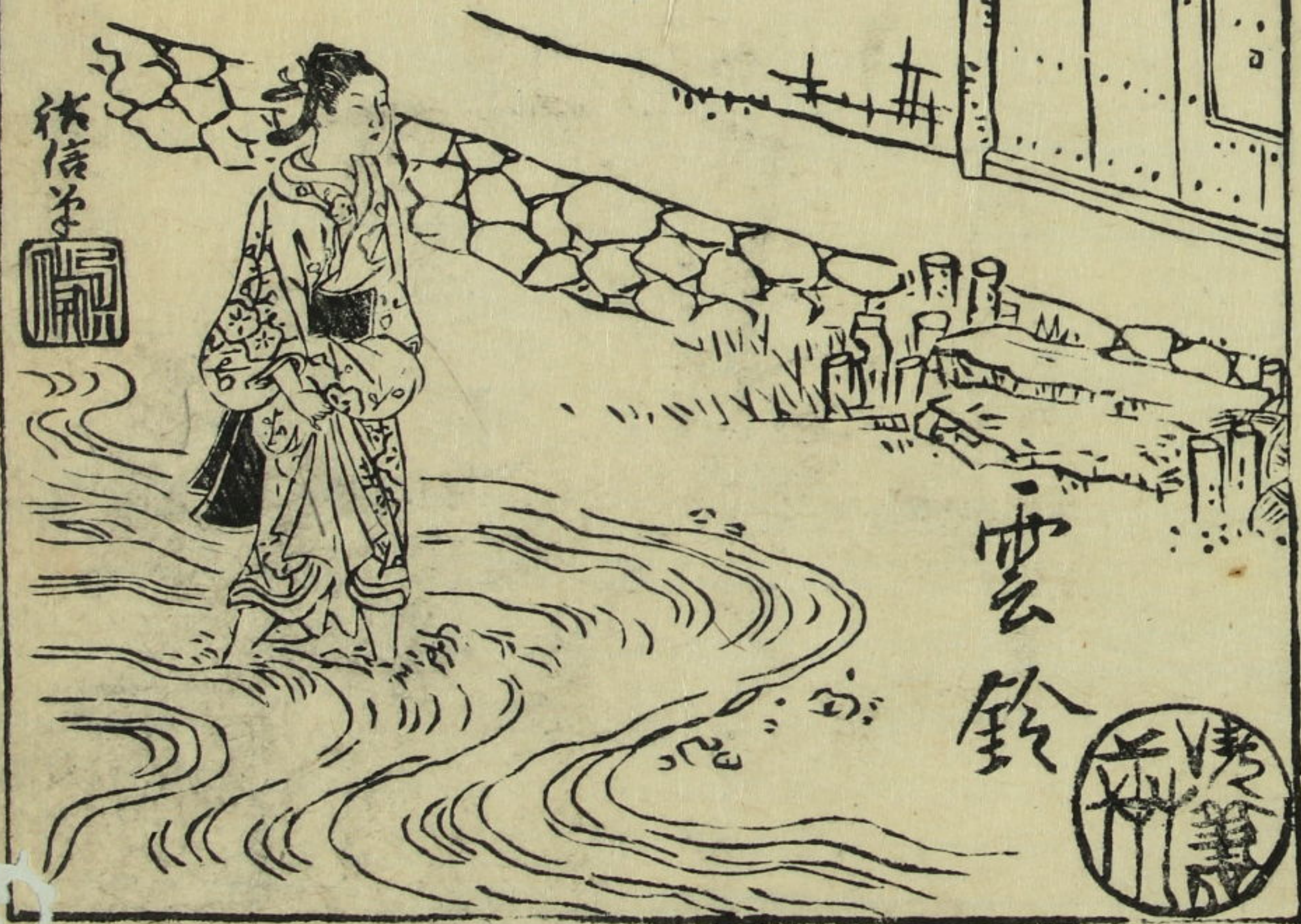
全
 子

流
 子
 流



香
 氏
 亭
 焚
 第
 二

月乃 流 周 乃



秋信

雲 鈴



行

大 人 高 水 也
 抄 北 川

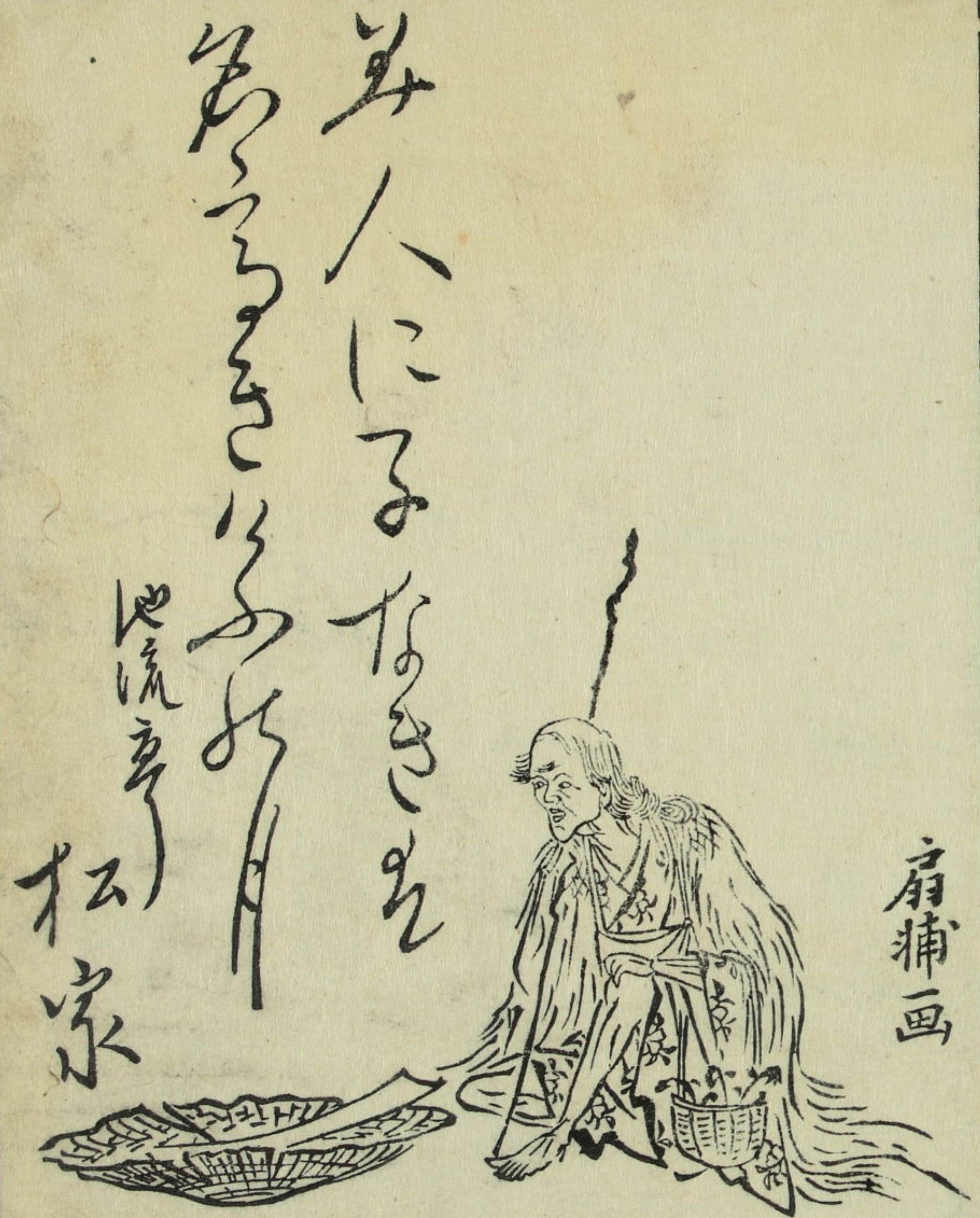


四時

其 儀

信 画





年人の子なほ
 ありさしあはれ

地流亭

松家

扇捕画



下
 の
 心

巴人

天竺地之

自画

浦安法

通尔

木乃系

木乃系



高野堂
百合

浦安法

息災

申
同

木乃

此

花



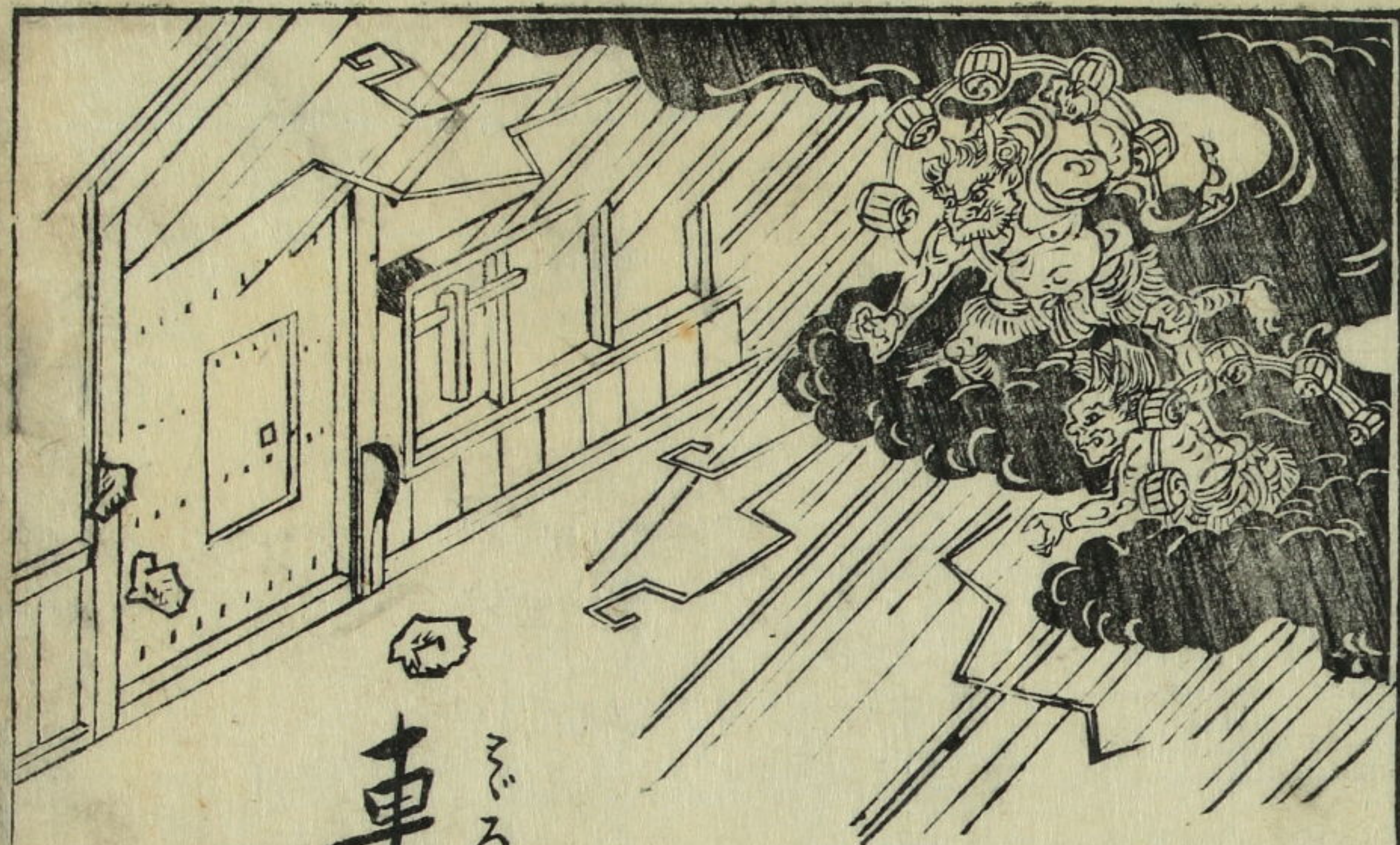
浦安法

可令

井

信





車くるま

礪こ石いし

雷かみなりの
新あらた枕まくら

新あらた画え


枕まくら心こころ



人ひと喰く馬うま子こ
相あ口ぐち

ハ
カ
ヤ

洪こう系けい藤とう車くるま

言こと石いし

福書 いなつま

露吹庵和及門人

喜鶴翁西生



西生信画



多 まが

子 こ

障 さや

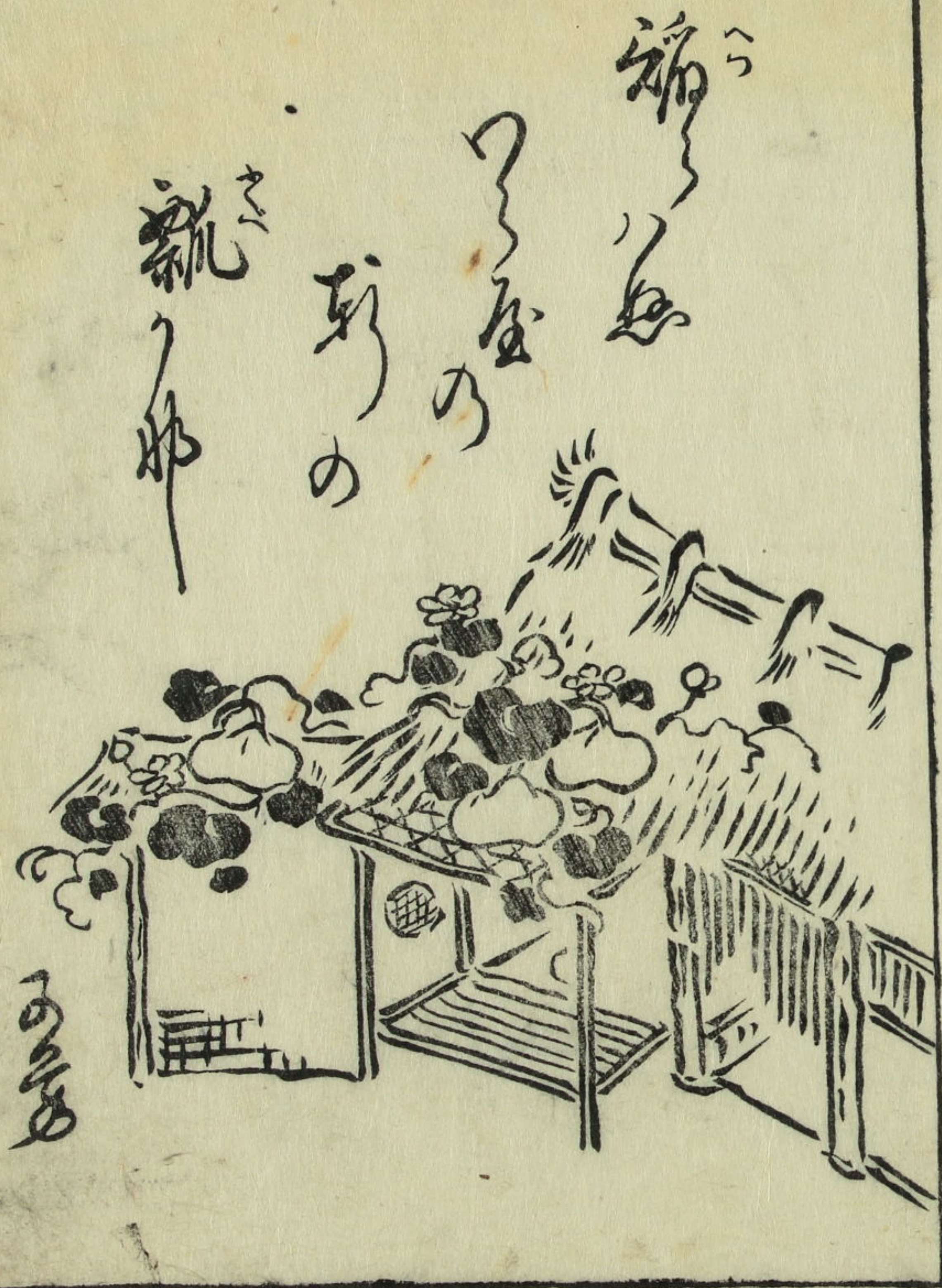
あ

福花

吉

お





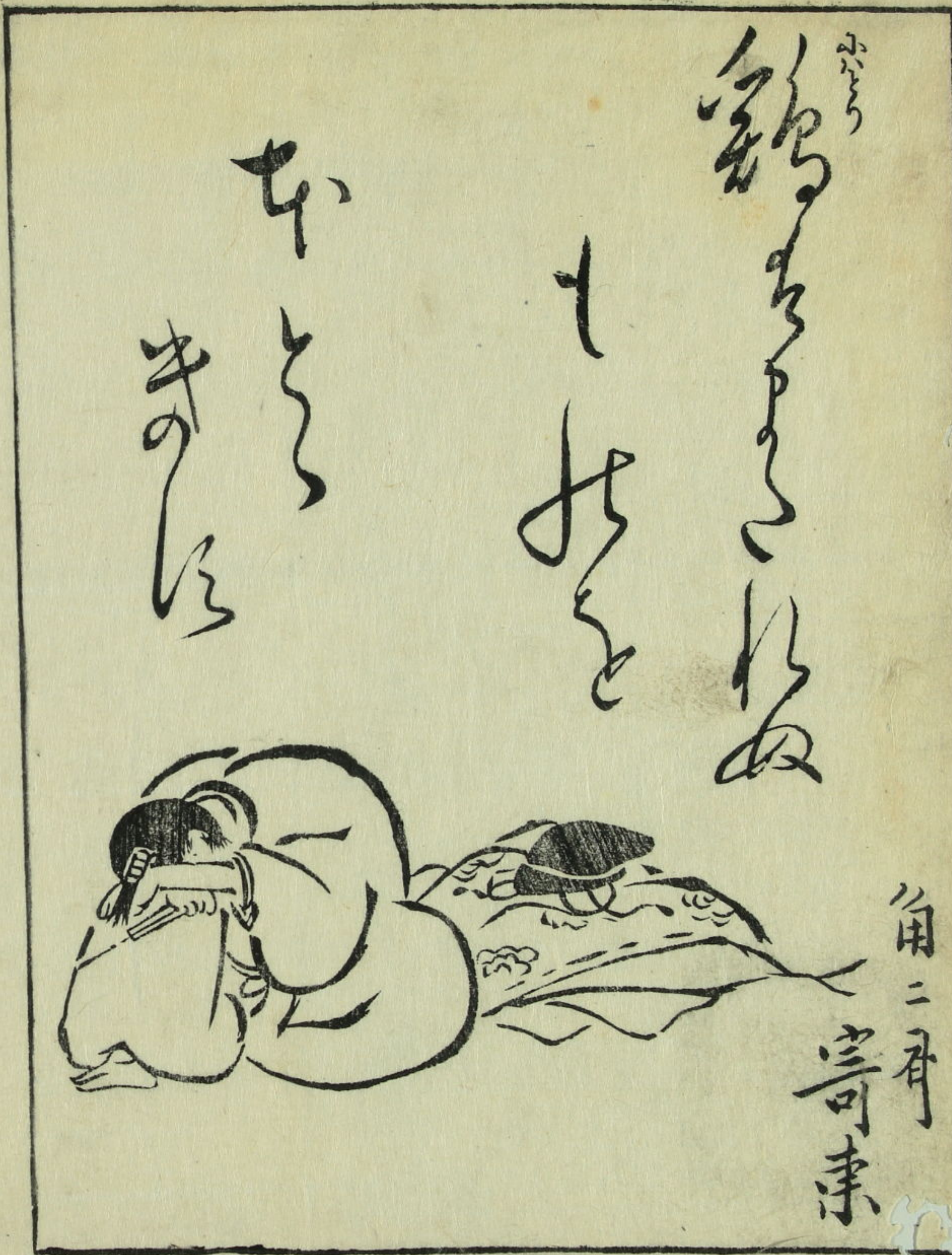
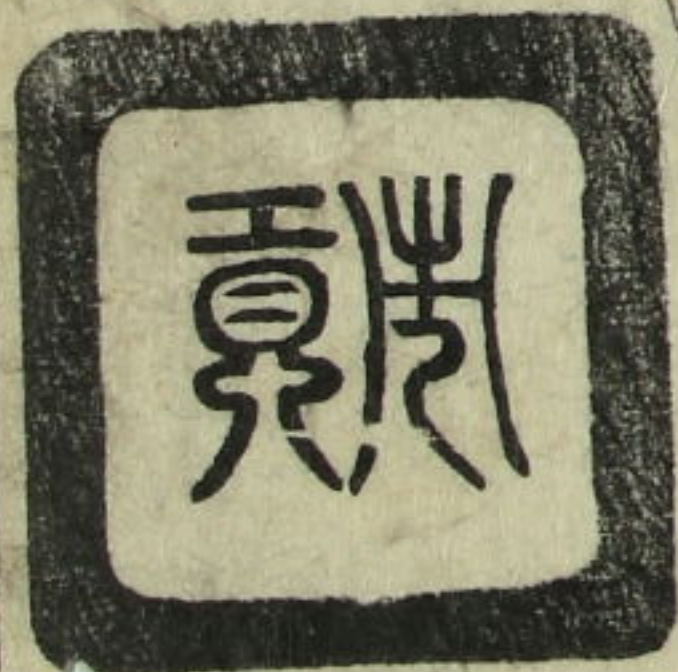
よ
ら
ら
ら
ら
ら



羣
世
佳
祭
文
推



巨璞堂
市貢





う
 とう
 うその
 せい
 せい

新橋画


新橋画

七宝



あつ
 雨を
 くら
 くら
 くら

新橋画


而咲堂 練石



